

夢にぞ吹きて

連作和歌 百首歌集

2009/3/17-4/2

8201 春風は 夢にぞ吹きて 胸苦し 醒めても強いる 空飛びの舞	眞	3月17日 01時15分
8202 見ゆるものページュに淡く色づきて春のおぼろは黄砂のヴェール	重陽	3月18日 06時26分
8203 長堤をあの虹までと駆けてゆく河口おぼろにしぐれてをりぬ	かわせみ	3月18日 12時00分
8204 春夕べ乳房冷ゆればプリマスの岬にかかりいし虹を思はむ	たまこ	3月19日 07時02分
8205 失はれし時を思へば白蘭の花も冷えけり奉天の城	丹仙	3月19日 09時25分
8206 その昔満洲といふ国在りましたリー・シャンランの歌の流るる	真奈	3月19日 20時51分
8207 柳絮舞ふ満州の春美しと語れる人の重き歲月	かわせみ	3月19日 22時47分
8208 その土は 生まれた人の 母なる地 ハタ立て なすな 心どろどろ WBC	眞	3月20日 02時16分
8209 軍閥の野望端倪すべからず王道楽土の夢ははかなし	光源氏	3月20日 09時09分
8210 俳諧の歌の道なりバケツよりこの世見上ぐる亀の鳴き聲	丹仙	3月20日 09時32分
8211 老い母と鶯の歌を聞く今を夢のひとつの完結とせむ	たまこ	3月20日 09時41分
8212 亡き母の口癖それはなにごともだれか見てると心にせよと	重陽	3月20日 10時02分
8213 つれなきを常とはしれど鶯の聲もはかなし梅の古里	光源氏	3月20日 10時37分
8214 繭ごもり再び生(あ)れん桑解かれ芽ぶく早やさよ母のうぶすな	かわせみ	3月20日 13時04分
8215 友だちになりたし芽吹く椎の木の匂いが好きだと言うこの人と	たまこ	3月20日 23時11分

8216	故郷の小高き丘のちちははの墓にすみれの花咲きにけり	弁慶	3月20日 23時15分
8217	春生れて春逝きましし母の人生(みち)楽ていふ日々五指にたらざり	寂	3月20日 23時43分
8218	わが師父の暝りし山の教会に復活告ぐるアンジェラスの鐘	丹仙	3月21日 08時20分
8219	春風に散りゆく花のうつろひに名残つきせぬ月の雫ぞ	光源氏	3月21日 08時28分
8220	鐘の音に目覚むる春のあけぼのに雌雄(めを)の雉鳩ククルルク	かわせみ	3月21日 10時36分
8221	ククルクク・駅舎に餌を拾う鳩の悲しいほどに赤いその足	たまこ	3月21日 12時14分
8222	遠鐘の幽かにひびく朝ぼらけ江戸の桜の開花宣言	重陽	3月21日 12時39分
8223	北町の遠山桜は日本一背中に咲きて散るはずもなし	光源氏	3月21日 13時30分
8224	考えごとをしながら歩く君の癖パシンと背を叩いて送る	たまこ	3月21日 15時25分
8225	スプリングコートの前ををつと押して送り出ししがつひに帰らず	かわせみ	3月21日 21時45分
8226	つむり病む老懶の背にちりめんの花降りつもれ春を謳へよ	真奈	3月22日 06時55分
8227	白髪と薄き顛頂を確かめつ花の盛りに集う友どち	重陽	3月22日 09時06分
8228	朝日影凱風快晴心地よし霞む外山の山桜かな	弁慶	3月22日 09時14分
8229	堰をきり雪どけ水の流れたす彼岸桜の夢見心地よ	くりおね	3月22日 09時53分
8230	花を待つゆとり乏しき吾がこころ真夜の嵐を寝ねがてに聴く	丹仙	3月22日 10時00分
8231	いねがての おろおろこわし さめぎわは 桜がさそふ うす墨のやみ	真	3月22日 18時55分
8232	うす墨のやみの彼方かあひたがへ言葉ひとつに哀しきをしる	れん	3月22日 19時47分

8233	あと少し季節移れば奥美濃のうす墨桜咲くとの便り	弁慶	3月22日 21時04分
8234	薄墨の桜咲きは来月ぞ今は池田の雲上桜	光源氏	3月22日 23時35分
8235	もう一度わたしに望みをかけたくて去ります今年は開花も早い	たまこ	3月23日 06時27分
8236	満潮を迎えて春の日を透かすこの世の無常大江戸彼岸	くりおね	3月23日 07時34分
8237	ひそやかによしづく胸にひかれたる亡きあとまでに開く御覚え	光源氏	3月23日 09時16分
8238	ひそやかに別れ去るべき友どちの痛き諍ひ彼岸過迄	丹仙	3月23日 11時13分
8239	タンポポの光のどけくあたたかき風に諍ひ放たるるべし	かわせみ	3月23日 14時28分
8240	忠告に沙汰の久しき友どちの詫びさやかなるメール届きぬ	重陽	3月23日 19時09分
8241	忠言は耳に逆らうものにして師の叱声こそ神の言の葉	弁慶	3月23日 20時53分
8242	トロイメライ受話器に聞きつつ待ちをれば陽にひかりつつ風花がまふ	たまこ	3月23日 23時34分
8243	春銀河鉄道駅に降り立てばイーハトーブに響くセロの音	丹仙	3月24日 00時27分
8244	ひとひらの彼岸桜はなめらかな旋律なぞり春風に舞う	くりおね	3月24日 06時47分
8245	ひとひらの桜は春の風に舞ひ去りゆく君の髪にかかるや	光源氏	3月24日 11時30分
8246	山桜咲きにけるかな伊豆の山彼方に霞む雪の富士見ゆ	弁慶	3月24日 20時34分
8247	白木蓮を上げばたまゆら目まひして大星雲のなかのわたくし	たまこ	3月25日 00時14分
8248	分水の嶺の雨滴のたまゆらの神さぶ一打サムライジャパン	重陽	3月25日 05時47分
8249	視線あび 即かくスジを すぐ為せる 一の修行と ウタの作法と	真	3月25日 08時02分
8250	卒業のコメンメントを祝せどもダブルの背広身に余りをり	丹仙	3月25日 08時33分

8251	身にあまる深きを抱へ黙しをり空の重さは曇天にして	れん	3月25日 11時38分
8252	ひびきくるうすらあかりに光みちこずえのゆれて春はらんまん	くりおね	3月25日 12時40分
8253	誰がために明日の姿を残すらむ散りはてぬればこずゑ眺めそ	光源氏	3月25日 15時21分
8254	叶はぬと知りつつ言ひし「また明日」悲鳴のやうに風が吹きぬし	たまこ	3月25日 20時40分
8255	明日のなき別れなりしか遠き日の日の丸鉢巻思ひいづるも	かわせみ	3月25日 23時16分
8256	若くして死にゆくものの切なさや愛する人をまぶたに浮かべ	くりおね	3月26日 05時22分
8257	若くして散りゆくものの露の身にまた修羅の風吹かぬものかは	真奈	3月26日 06時30分
8258	海原の風のなごりに散りまがふいづこをはかと定めなきこそ	光源氏	3月26日 08時50分
8259	定めなき世を寸心の渡りゆく脚下照らさむ法の灯火	丹仙	3月26日 09時20分
8260	いきあたりばつりに生きごつごつとふしぶし痛み老いに愉しみ	くりおね	3月26日 19時00分
8261	身をまかす時の流れのうつろひにたれや知るらむ深き思ひを	光源氏	3月26日 22時16分
8262	春キャベツの葉つばを剥けば軽き音たちて決意す海を渡らう	たまこ	3月26日 22時28分
8263	春キャベツさくさくさくと切り刻むリズム軽やか妻はご機嫌	弁慶	3月26日 23時48分
8264	ぱっかりと割りてほぐして春キャベツ甘酢やはらか酒肴にも佳き	真奈	3月27日 00時09分
8265	あえて今 春の味核を よろこべぬ 北の企み ほぐす政治家	真	3月27日 02時23分
8266	千里ゆく軍馬に替へて鋤鍬をうてよ平和の西便制(パンソリ)ならむ	丹仙	3月27日 09時45分
8267	くれないの桜前線北上し大和民族この世を謳歌	くりおね	3月27日 09時46分

8268	潮風の靡く静寂の徒然に星は流るる北の灯台	光源氏	3月27日 09時58分
8269	心優しき朴青年の北へ帰る決意告げたる遠き眼差し	かわせみ	3月27日 15時37分
8270	わたくしを透視してみた駱駝の眼に今なら耐へることができるか	たまこ	3月27日 20時01分
8271	はるばると砂漠と仏跡駆け抜けし三蔵法師の眠る慈恩寺	光源氏	3月27日 21時43分
8272	天山の南路を踏みしめ三蔵は般若心経を唐にもたらず	弁慶	3月27日 23時47分
8273	観ることのかなわぬ我に庭前の柏樹を示す老漢の指	丹仙	3月28日 09時47分
8274	うたかたの憂き身を結ぶ春の川君よ帰れと願ふ柏手	光源氏	3月28日 15時35分
8275	述志とは難きことにて御座候まだ戦争状態の彼の北の国	真奈	3月28日 19時47分
8276	自衛隊の基地に迎撃ミサイルが深夜に輸送されるを映す	くりおね	3月28日 21時10分
8277	独善を言ふな己に問ふべしと本を閉じたり夜の花冷え	たまこ	3月29日 00時23分
8278	早々と屋台を仕舞ふ夕暮の歩行者天路花の冷えゆく	丹仙	3月29日 08時44分
8279	独善は自我の脱却目指すこと独り善がり花も恥じらふ	光源氏	3月29日 09時07分
8280	雪の舞う天城の峰の此処かしこ深山ザクラの花咲きにけり	弁慶	3月29日 10時04分
8281	はやければうれしおそくてもまたうれし桜はまるでわが子のような	くりおね	3月29日 10時17分
8282	しんしんと心冷ゆれば読む『にんじん』十六歳の夏よりのこと	たまこ	3月29日 13時18分
8283	不可思議な賢治童話の世界なり二十六夜の金色の月	丹仙	3月29日 23時14分
8284	春なれや満天星躑躅咲きにけり小夜の中山朝露の中	弁慶	3月29日 23時43分
8285	移りゆく時の流れを思はざるいとしき人の月の明かりに	光源氏	3月29日 23時48分

8286	振り向かずさりゆく影に思ひ出づ「鴉は月に鳴き候ぞ」	たまこ	3月30日 06時59分
8287	無限なり内なる宇宙に似た星の誕生をみる銀河鉄道	くりおね	3月30日 07時12分
8288	永遠に往くべき切符返上し君還り来る青きこの星	丹仙	3月30日 11時45分
8289	み吉野の桜散りたる月影に名をば残せよ別れ惜しまじ	光源氏	3月30日 17時31分
8290	薫ぶきの苔むす屋根に日の差して花季に入れたり円通禅寺	たまこ	3月31日 18時41分
8291	うたかたの時の流れに朽ちはてど日差しは今も庵にこぼれし	光源氏	3月31日 23時09分
8292	新年度はじまるこの日出会いありいかようにでも変身できる	くりおね	4月1日 07時35分
8293	ショートケーキにのるチョコレートが帆のやうで四月一日ガリバーになる	たまこ	4月1日 11時59分
8294	エイプリル・フールなれども厳かにアルマ・マーテル歌ふ式典	丹仙	4月1日 12時38分
8295	せせらぎをおほふ桜のやさしさよ人もやさしき哲学の道	重陽	4月1日 18時44分
8296	さえわたる月の光にしだれしは思ひつものりし君が影かと	光源氏	4月1日 22時28分
8297	聞こえるメロディーに歌くちづさむ天頂にあり春の三日月	くりおね	4月2日 06時30分
8298	ガールネリの弦暖かきチャルダーシュ螺旋階段のぼる春月	真奈	4月2日 07時52分
8299	山峡の芽立つ古知谷を仰ぎつつのぼりて行けばわが息ばかり	重陽	4月2日 09時44分
8300	追憶の螺旋階段たどるほど君が想いは心を縛る	光源氏	4月2日 11時35分